

No. 4

1990年11月1日

DATA ANALYSIS CENTER FOR GEOMAGNETISM AND SPACE MAGNETISM
operating WORLD DATA CENTER C2 FOR GEOMAGNETISM

1. Provisional Geomagnetic Data Plots No.2 (January-June, 1990) の印刷と配布

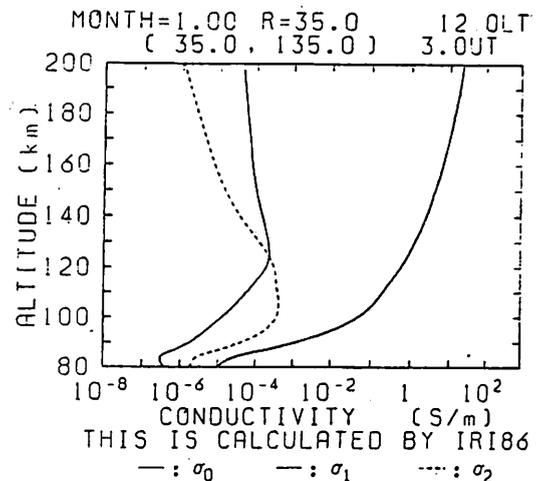
世界各地で測定された地磁気1分値データをプロットした 'Provisional Geomagnetic Data Plots No.2' を印刷し、前回アンケートで継続配布希望をいただいた方には既に発送致しました。今回は、1990年1月から6月までで、新たに2カ所の観測所を増やすとともに、Kp指数も追加しました。まだ多少残部がございますので、継続配布希望を出されていない方、または今回新たに配布希望の方は、御面倒ですが宛名を書いたラベルを同封(記入)の上、郵便またはファクシミリにて、京都大学理学部地磁気世界資料解析センターまでお申し込み下さい。

2. 一時間値Dstの算出

1985-86年の "Final Dst" および1989年8月までの "Provisional Dst" の算出を終え、関係機関に配布いたしました。(一部観測所データに問題があり算出が遅れていました。)

3. データベース応用プログラムおよびデータの追加

京都大学大型計算機センターに構築し公開しております太陽地球系物理学データベース 'STP' に、電離層電気伝導度の高さ分布をプロットする機能が追加されましたのでお知らせします。使い方の例については、右図およびこの紙面裏の説明をご参照願います。その他は今までどおりです(利用の手引(初版)参照)。また、データベース 'GEOMAG' のテーブルDSTKPは1990年7月まで追加されました。



<電気伝導度高さ分布プロット使用例>

4. 新着地磁気データ

前回ニュース(9月1日発行)以降入手しましたデータの内、主なものは以下のとおりです。(観測所の位置等については、データカタログまたはデータベース 'GEOMAG' をご参照下さい。)

(1) アナログデータ

ノーマルランマグネットグラム:

Kakioka, Kanoya and Memambetsu (July-September, 1990)

(2) デジタルデータ

地磁気1分値:

Kakioka, Kanoya, Memambetsu, Luning (August and September, 1990)

French obs. (AMS, CZT, DUM, KGL 1989; PPT, MBO, BNG 1988; 但しMBO, BNGは2.5分値)

地磁気1秒値:

Kakioka (August and September, 1990)

(裏面に続く)

**** 電離層電気伝導度の高さ分布を計算しプロットするプログラムの使い方 ****

★ 機能

会話形式で任意の場所・時期（太陽活動度、月、地方時）の、電離層電気伝導度（ σ_0 , σ_1 , σ_2 ）の高さ分布を計算し、プロットする。図形の出力先に応じて、プレビュー用とセンターNLP出力用とがある。

★ 使用例

以下にプレビュー版の使用例を示す。下線部が端末から入力したデータである。

LOGON TSS リヨウハンゴウ

+PASSWORD=パスワード

（レーザープリンター（NLP）出力結果を連絡所に郵送してほしいときは、ログオン後#YUSO ON と、入力しておくこと。）

EXEC 'A50665.CSIG.CLIST(HTPROFP)' . . . プロシジャHTPROFPを呼び出す

NLP版の時はEXEC 'A50665.CSIG.CLIST(HTPROFN)'とする。

*** HEIGHT PROFILE OF CONDUCTIVITY BY IRI9 ***

ATAI NO PRINT WA?(Y/N)

>Y . . . 数値を画面出力させる

MINIMUM (>=80) AND MAXIMUM (>=120 & <=1000) HEIGHT (UNIT:KM)?

>90,200 . . . 計算する高さの範囲を指定する（注1）

GEOGRAPHIC LATITUDE AND LONGITUDE (DEG.)?

>35,135 . . . 位置を地理座標で指定する

R,MONTH,LOCAL TIME (HOUR)?

>35,1,12 . . . 太陽黒点数、月、地方時を指定する

MINIMUM HEIGHT= 90.0 MAXIMUM HEIGHT= 200.0

LAT.= 35.0 LONG.= 135.0 R= 35.0 MONTH= 1.00 HOUR= 12.00 PRINT:YES

OK(Y/N)?

>Y . . . 確認（ここで計算結果が以下のように1km刻みで表示される）

GEOGRAPHIC LAT.= 35.0 LONG.= 135.0 R= 35.0 MONTH= 1.0 HOUR= 12.0

HEIGHT SO S1 S2 HEIGHT SO S1 S2

90 1.1104E-03 1.7551E-06 4.1799E-05 91 1.8992E-03 2.2344E-06 6.0407E-05

92 3.1165E-03 2.7870E-06 8.4023E-05 93 4.9147E-03 3.4222E-06 1.1266E-04

（以下略）

PLOT WA? (Y/N)

>Y . . . プロットする（以下プレビューの状態になる。注2）

*START OF TAPE MODE/OPTION? W

WHERE WOULD YOU LIKE ORIGIN?(X,Y) 0,0

ENTER SIZE (WIDTH,HEIGHT) 28,21 . . . この程度が適当である

OPTION? C （ここで図面が描かれる）

OPTION? C

#（終了）

（注1）高さの単位はkm、指定できる高さは80kmから1000kmまで1km単位で、最高高度は120km以上

（注2）プレビューの使い方の詳細については、京大大型計算機センター利用の手引を参照。

★ 補足

1. 不適切なキー入力となされた場合、直前のメッセージがもう一度出力されるので、もう一度適切なキー入力をやり直すこと。
2. 図形出力装置によって、プロシジャHTPROFP（プレビュー用）とHTPROFN（センターNLP出力用）を使い分ける。図形出力をしないときはHTPROFPを用いる方がよいが、テクトロあるいはテクトロ互換以外の端末でプレビュー図形出力をしないように注意すること。
3. HTPROFN（センターNLP出力用）を用いた場合、終わりにはNLP出力変換のメッセージが出力される。また、セッション終了後センターで出力要求をしてNLP図面を出力すること。